

42.【住宅の広さ】日本海側各県での広さ際立つ・豊かな農村の歴史を反映？

前回に引き続き、令和5年「住宅・土地統計調査」からのテーマ設定です。同調査では、住宅の広さに関して、1住宅当たり居住室数、1住宅当たり居住室の畳数、1住宅当たり延べ面積の値が市区町村別まで示されており、地域による広さ水準の違いを知ることができます。日本の住宅は欧米に比べ狭小と言われ、一時期は「うさぎ小屋」などと評されましたが、生活スタイルにより住まい方も多様であってよく、欧米と比べること自体ナンセンスで広ければ良いというものでもないと思えるのですが、その日本の中でもかなりの幅がありそうです。

ここで対象となる「住宅」は、[前回記事](#)で示した住宅の分類定義の中の「居住世帯のある住宅」で、その数は全国で55,665千戸（令和5年）です。その広さ指標が、都道府県、市区町村別に示されているわけですが、ひとくちに「住宅」といってもいろいろで、「住宅・土地統計調査」上では下のよう様々な区分があり、この他にも構造、階数、建築時期などによる集計もなされていますが、本稿でとりあげる「広さ」指標はこれらの分類を包括した「居住世帯のある住宅」の総数によるものとします。

「住宅・土地統計調査」での「住宅」の分類区分例

住宅の種類	住宅の所有の関係	住宅の建て方
└ 1_専用住宅	└ 1_持ち家	└ 1_一戸建
└ 2_店舗その他の併用住宅	└ 2_借家	└ 2_長屋建
	└ 21_公営の借家	└ 3_共同住宅
	└ 22_都市再生機構(UＲ)・公社の借家	└ 4_その他
	└ 23_民営借家	
	└ 24_給与住宅	

比較する「広さ」の指標としては、「1住宅当たり延べ面積」を主とし、「1住宅当たり居住室数」、「1住宅当たり居住室の畳数」も併せて示すこととしますが、ここでの延べ面積、居住室数、畳数とは、同調査で次のように定義されています。

◆住宅の延べ面積（居住面積）

人が居住する住宅における、各住宅の床面積の合計をいう。この延べ面積には、居住室の床面積のほか、その住宅に含まれる玄関、台所、トイレ、浴室、廊下、階段、農家の土間、押し入れなどや店、事務室など営業用に使っている部分の面積も含めた。ただし、別棟の物置・車庫の面積や商品倉庫・作業場など営業用の附属建物の面積は含めない。アパートやマンションなど共同住宅の場合は、共同で使っている廊下、階段などの共用部分の面積を除いたそれぞれの住宅の専用部分の床面積とした。

◆居住室数

居住室とは、居間、茶の間、寝室、客間、書斎、応接間、仏間、食事室など居住用の室をいう。したがって、玄関、台所（炊事場）、トイレ、浴室、廊下、農家の土間など、また、店、事務室、旅館の客室など営業用の室は含めない。ただし、ダイニング・キッチン（食事室兼台所）は、流しや調理台などを除いた広さが3畳以上の場合は居住室とした。また、同居世帯がある場合には、その世帯が使用している居住室も室数も含めた。

◆居住室の畳数

畳数は、上に述べた各居住室の畳数の合計をいう。洋室など畳を敷いていない居住室も、3.3㎡を2畳の割合で畳数に換算した。

令和5年住宅・土地統計調査「用語の解説」より

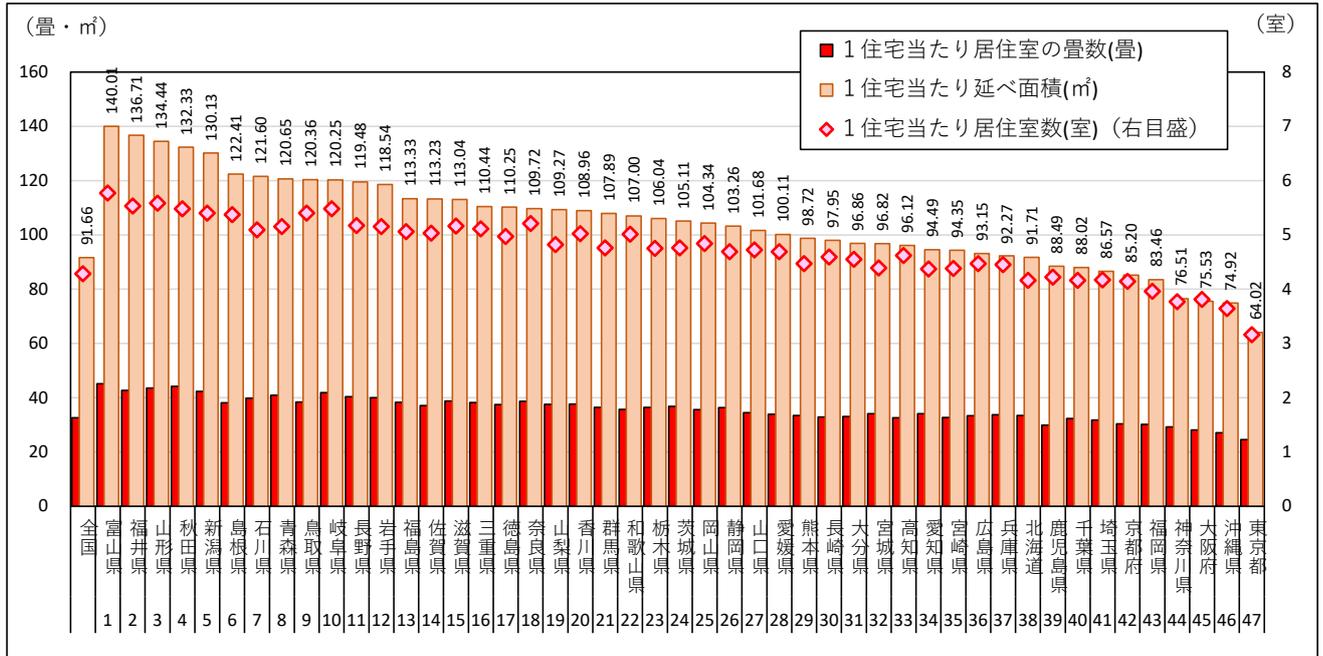
なお、[前回記事](#)でも述べたように、住宅・土地統計調査は全数調査ではなく、約5分の1の国勢調査の調査区内の約20万単位区での抽出調査であり、その結果を拡大処理した結果で示され、市区町

村別の結果では、町村は人口1万5千人以上に限り公表のため、全市区町村の比較とはなりません。この点に注意が必要です。

日本海側各県が上位独占。富山県と東京都で2.2倍近い格差

ではまず、都道府県別の広さ指標の平均値を比較してみましょう。下の図は、「1住宅当たり延べ面積」の広い順に都道府県を並べたもので、「1住宅当たり居室数」、「1住宅当たり居室の畳数」も併せて表示しています。

都道府県別の住宅の広さ指標



資料：令和5年住宅・土地統計調査

全国平均の「1住宅当たり延べ面積」は91.7㎡、「1住宅当たり居室数」は4.3室、「1住宅当たり居室の畳数」は32.7畳です。坪単位の方がわかりやすいという方のために1坪3.3㎡で換算すると、「1住宅当たり延べ面積」は約27.8坪、「1住宅当たり居室の畳数」は約16.3坪となります。ご自分の住まいと比較して、感覚的にどうでしょうか。

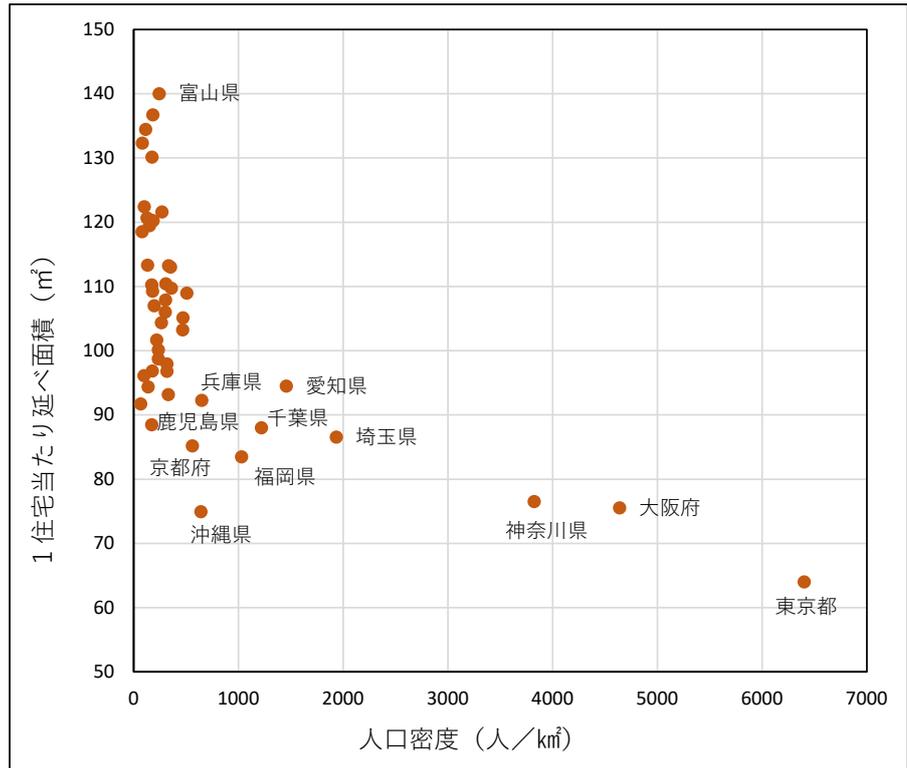
都道府県別で最も「1住宅当たり延べ面積」が大きいのは富山県で、その値は140.0㎡、約42.4坪です。全国平均の1.53倍の広さで、「1住宅当たり居室数」は4.3室、「1住宅当たり居室の畳数」は32.7畳です。2位以下は、福井県、山形県、秋田県、新潟県、島根県、石川県、青森県、鳥取県と続き、見事に日本海側の県が並んでいます。

富山県が首位ということで、広大な砺波平野の屋敷林に囲まれた農家が点在する散居村の風景が目には浮かびますが、必ずしも全てがそのような環境でないとしても、上位に並ぶ日本海側の各県は概ね持ち家率も上位(No.9「持ち家率」参照)のところで、農村部の土地に根差した旧家、ゆったりとした農家建築等の比重が高いことが伺えます。

逆に、最も「1住宅当たり延べ面積」が小さいのは東京都の64.0㎡で、「1住宅当たり居室数」は3.2室、「1住宅当たり居室の畳数」は24.5畳です。延べ面積の比較では、首位の富山県との間で2.2倍近い格差があります。全国平均より「1住宅当たり延べ面積」が小さいのは、東京都のほか沖縄、大阪、神奈川、福岡、京都、埼玉、千葉、鹿児島島の9都府県で、これも持ち家率の低さとほぼリンクします。46位の沖縄県は持ち家率(No.9参照)でも46位だったことが興味を引きま

住宅購入の際、地価が高いところでは広い家は確保しにくく、地価は人口の集積度に関係すると考え、人口密度 ([No.16「人口密度・面積」](#)参照) (令和2年国勢調査) との関係を見ると、右図のように、「1住宅当たり延べ面積」が下位の都府県の大半が人口密度の突出して高いところであることが一目瞭然です。ただ、それ以外では、人口密度と「1住宅当たり延べ面積」は必ずしも逆相関というわけではなく、大都市部以外では人口密度以外の要因も働いていると推測されます。

人口密度と「1住宅当たり延べ面積」の関係



資料：令和5年住宅・土地統計調査（人口密度は令和2年国勢調査）

日本海側各県の農漁業主体の市町が住宅の広さの上位を席卷

次に、市区町村別の比較を試みますが、[前回記事](#)と同様に、住宅・土地統計調査での公表が町村は人口1万5千人以上に限られているため全市区町村の比較とはならず、比較対象は1,214市区町村（政令指定都市も行政区別）となることや、全数調査でないために精度が粗い可能性がある点に注意が必要です。

この前提のもとで、「1住宅当たり延べ面積」の上位50の市区町村を次ページの表に示します。参考として「1住宅当たり居室の畳数」、「1住宅当たり居室数」とその順位も示しています。また、これら市町の位置を、次々ページのマップに示します。

1位は秋田県美郷町で、その「1住宅当たり延べ面積」は211.4㎡と、全国平均の2.3倍、秋田県平均の1.6倍です。美郷町は、仙北平野の一角に位置し、平成16年に千畑町、六郷町、仙南村が合併して誕生した町ですが、多くの名水が湧き、それに育まれて芳醇な野菜や米、特産品等を生み出しているところです。このほか、上位には、都道府県で上位の日本海側各県内の市町の名が多く並び、今年（令和6年）、地震と豪雨という大災害に見舞われた石川県能登半島の市町（珠洲市、志賀町、中能登町、能登町、輪島市等）も住宅規模が大きいところであることがわかります。

人口が少ない町村のデータが不明ですが、それらも含め、特に日本海側各県の農漁村部に平均住宅規模が大きいところが多いと言って良さそうですが、これら農漁村ではかつては大家族が多く、農漁業を営むにも大きな家が必要だったという背景もあると思われ、家の建築や屋根の茅の葺き替えなど集落総出で応援しあう相互扶助社会の姿が浮かびます。

戦後間もない頃まで日本は農村中心社会だったわけで、全国の農村が日本の「穀倉」たらんと競った時代が長く続き、豊かさを築いてきたところも多く、住宅規模の大きさもそうした時代の姿の残照

という面もあろうかと思われます。

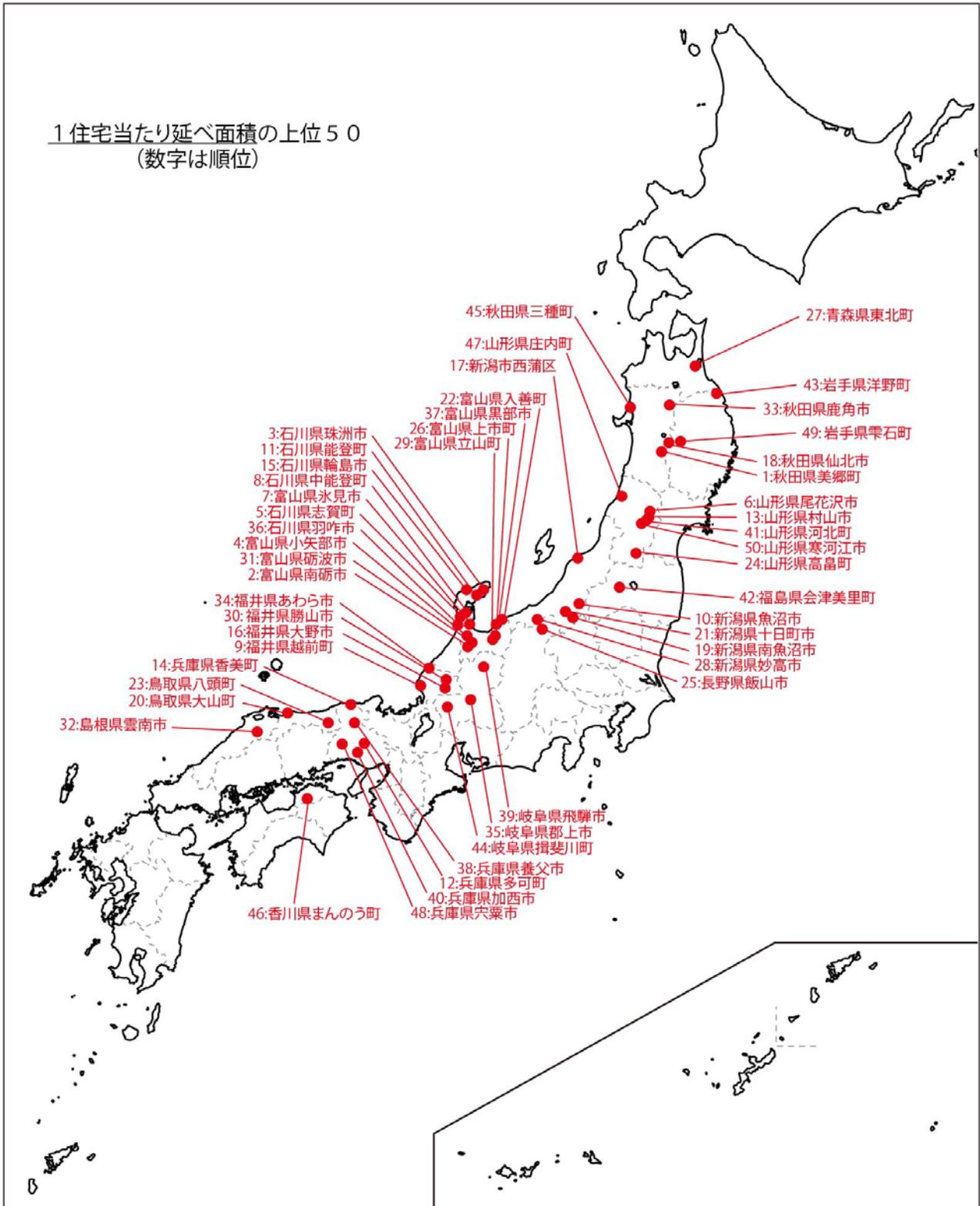
しかし、これらの地域の多くは今、人口の減少、とりわけ若い世代の流出が顕著で、広い家に少数の高齢者だけが住むという世帯も多いと思われます。そこで、次回記事では、同じ住宅・土地統計調査で把握可能な世帯員一人当たりの広さを採り上げてみたいとも思います。

市区町村別の「1住宅当たり延べ面積」の上位50

順位	(県)	市区町村名	1住宅当たり 延べ面積 (㎡)	1住宅当たり 居室の畳数		1住宅当たり 居室数	
				(畳)	順位	(室)	順位
1	秋田	美郷町	211.42	66.17	1	7.54	12
2	富山	南砺市	195.64	59.95	5	7.75	6
3	石川	珠洲市	191.39	62.44	3	8.43	1
4	富山	小矢部市	188.78	59.74	6	7.71	7
5	石川	志賀町	185.49	65.12	2	7.88	4
6	山形	尾花沢市	185.16	55.96	10	7.11	16
7	富山	氷見市	182.58	60.89	4	7.94	3
8	石川	中能登町	178.99	59.55	7	7.95	2
9	福井	越前町	176.10	53.14	23	7.25	13
10	新潟	魚沼市	175.41	47.23	92	6.02	123
11	石川	能登町	174.74	57.40	8	7.78	5
12	兵庫	多可町	171.18	54.92	13	7.61	10
13	山形	村山市	170.38	52.73	25	6.71	31
14	兵庫	香美町	169.82	51.44	34	7.62	9
15	石川	輪島市	169.11	50.35	47	6.65	36
16	福井	大野市	167.10	50.35	47	6.59	40
17	新潟	新潟市西蒲区	166.73	54.28	15	6.77	29
18	秋田	仙北市	166.42	56.54	9	6.72	30
19	新潟	南魚沼市	164.93	48.34	75	5.93	146
20	鳥取	大山町	164.81	49.47	59	6.98	21
21	新潟	十日町市	163.96	49.06	67	6.29	80
22	富山	入善町	163.53	55.04	12	6.88	26
23	鳥取	八頭町	163.43	53.34	21	7.65	8
24	山形	高島町	162.94	49.49	58	6.51	48
25	長野	飯山市	161.83	49.97	53	6.37	65
26	富山	上市町	161.55	52.09	29	6.65	36
27	青森	東北町	161.09	54.21	16	6.39	61
28	新潟	妙高市	161.07	50.49	44	6.46	52
29	富山	立山町	160.96	50.86	40	6.54	43
30	福井	勝山市	160.91	49.43	60	6.52	45
31	富山	砺波市	160.47	53.79	19	6.70	32
32	島根	雲南市	159.49	48.62	73	6.52	45
33	秋田	鹿角市	159.00	52.73	25	6.24	91
34	福井	あわら市	158.89	49.91	54	6.33	70
35	岐阜	郡上市	158.83	53.26	22	7.04	20
36	石川	羽咋市	158.35	53.83	18	6.95	23
37	富山	黒部市	158.30	47.74	85	5.88	161
38	兵庫	養父市	157.75	46.48	108	6.66	34
39	岐阜	飛騨市	157.44	48.85	69	6.50	50
40	兵庫	加西市	156.90	50.38	46	7.10	17
41	山形	河北町	156.83	51.29	35	6.52	45
42	福島	会津美里町	155.88	52.53	27	6.91	25
43	岩手	洋野町	155.82	54.14	17	6.81	27
44	岐阜	揖斐川町	155.75	54.52	14	7.58	11
45	秋田	三種町	154.87	49.33	61	6.28	82
46	香川	まんのう町	154.22	52.81	24	7.25	13
47	山形	庄内町	153.92	50.17	50	6.35	68
48	兵庫	宍粟市	153.86	50.79	41	7.07	18
49	岩手	雫石町	153.35	51.91	30	6.28	82
50	山形	寒河江市	153.34	47.95	79	6.07	118

資料：令和5年住宅・土地統計調査

住宅の広さ上位の市区町村マップ



資料：令和5年住宅・土地統計調査